



広報みまた

「今日から一年生」

57 / 4月号

小学校の入学式は4月10日(土)に各小学校毎に行われ町内で319名の新しい小学生が誕生しました。

この日は晴天に恵まれ新入生のつぶらな瞳は喜喜としてかがやきまさに春らんまんの感じでした。

住みよい、生きがいのある町の創造を目指して

38億3,500万円でスタート (昭和57年度一般会計予算)

町税の内訳 (単位:千円)

項目	本年度予算額	前年度予算額
町民税	276,002	241,982
固定資産税	266,594	218,663
たばこ消費税	57,833	44,330
電気税	35,893	29,830
軽自動車税	15,151	13,921
特別土地保有税	3,126	2,400
木材引取税	1,141	1,961
都市計画税	23,360	20,943
ガス税	1	1
入湯税	1	1
合計	679,102	574,032



3月定例議会



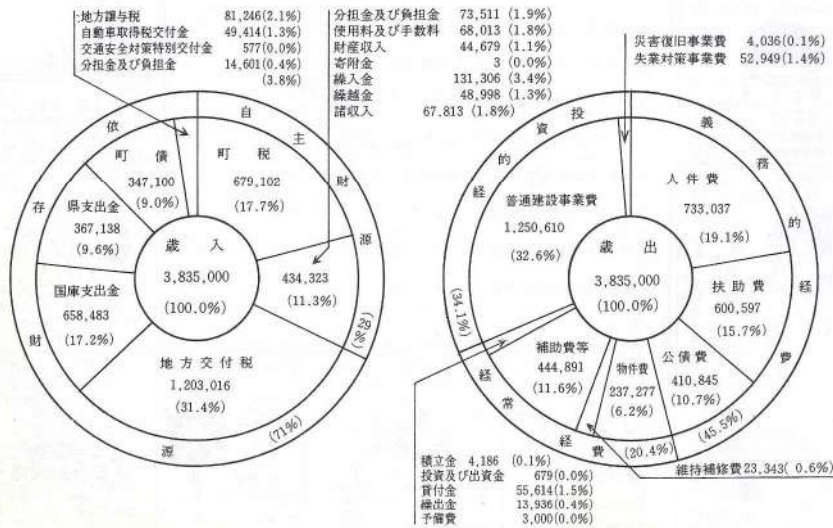
施政方針を述べる町長

本町の三月定例議会は、三月十二日より二十七日まで開かれ、冒頭、町長は、昭和五十七年度の施政方針を次のように述べました。「私はひつ迫した地方財政状況を十分に認識し、また、これに配慮した三股町総合計画を踏まえながら、一般会計予算を対前年度比八・五パーセント増の三十八億三千五百万円と定めましたが、今や住民の行政需要は、いよいよ広範多岐にわたる限りなき拡大の方向が見られ、これらを全て満たすことは、到底困難性があります。これに対応するには、全町民の自立自助の理解を求めながら、行政の持つべき分野を的確に把握し、対話と協調を基調に、全町民の意を体して、真に町民のためへの行政を推進し、伸びゆく三股町建設に邁進したい。」と述べたような重点施策を明らかにしました(要点のみ)

一、快適な生活環境の整備

本町は美しい都市的形態と豊かな農村とを調和した、田園都市構想をとらえ、その実現を図って来たところでありますが、今年度も都市計画街路事業、道路整備補助事業の導入、土地区画整備事業の継続施行、全町的な臨時地方道の推進、都市下水道及び公営住宅の建設等を意欲的に推進したい。

歳入財源別・歳出経費別調べ(単位:千円)



二、生きがいのある福祉の充実

町民が真に楽しい生きがいのある生活を受容できるように福祉の町三股を念じながら、福祉制度の有効適切な運用とともに、更に一歩進めて、乳幼児・児童対策から、老人・障害者対策など、出生から老人に至るまでの生涯にわたる暖かい福祉対策の充実、健康づくりの推進に真剣に対処して行きたい。

三、農畜産業の振興と商工業の育成

農畜産業は、本町産業の機軸をなすものであり、これの対策はかた時もゆるがせに出来ない重要課題でありますので、積極的な農業生産基盤の整備と、明るい農村環境の整備等一体的な諸施策を講ずる必要と相まって、需給のバランスを勘案しながら総合的な農政を推進して参りたい。

また商工業についても、経営の近代化や安定化を図り、消費と雇用の拡大による町民生活の安定向上に意を注ぐ決意である。

四、教育文化の向上とスポーツの振興

文教の町として永く息づいていく町民の教育に寄せる情熱と気運をその推進力として今後とも一層の教育振興対策を図りたい。先ず長田小の改築事業に取り組み、学校教育施設の充実によって学力向上と情操教育の涵養に努めると共に公民館を拠点とする社会教育活動の育成強化とスポーツの振興によって、心身ともに健康で明るい町づくりに努力したい。

五、公正明朗な行政とサービスの向上

町民の行政需要は、年とともに増大し複雑化して参りますから、これに直接対処し運用する全職員と一体となって、各種の研修を積みながら資質の向上と事務の効率化を図りもって行政の円滑なる運用とサービスの向上に資したい。以上五項目にわたる所信の一端を申し述べましたが、私はこれらを中心課題として、行政全般にわたり調和のとれた行政執行に全精力を傾倒したい。

本年度の主な事業と目的別の内訳

(単位:千円)

事業名	事業内容	事業費
早馬下土地改良総合整備事業	農道改良L-1,150m 用水路L-1,150m	30,300
勝間下土地改良総合整備事業	農道改良L-300m 用水路L-300m 排水路L=350m	15,150
農用地利用増進特別対策事業	農道改良L-2,240m	65,000
地区再編農業構造改善事業(長田西)	集落センター1棟172㎡ 防火水槽4基	36,500
地区再編農業構造改善事業(長田東)	農道新設舗装L=1,025m W=4.0m	43,600
畑元植木除根舗装事業	舗装L=660m W=5.5m	36,000
新馬場早水線交通安全施設整備事業	交通安全施設L=600m	12,000
島津紅茶園切寄線改良事業	改良L=200m W=5.5m	9,000
懇池小園線改良事業	改良L=900m W=5~5.5m	30,000
臨時地方道整備事業	舗装改良	72,300
新馬場郡元線ほか1線街路事業	改良舗装L=130m W=12m	78,000
蔭池都市下水路事業	管渠埋設工L=217m 舗装1,085㎡	50,000
植木都市下水路事業	管渠埋設工L=62m 舗装310㎡	14,000
新馬場近隣公園整備事業	造成修景施設ほか	30,000
中原児童公園整備事業	造成植栽ほか	10,000
榎塚児童公園整備事業	用地費500㎡	15,000
公営住宅建設事業	中層耐火構造3階建1種12戸 1戸当り74.4㎡	104,858
防火水構建設事業	道路埋設40㎡ 2基5,688×1/3-1,896 20㎡ 2基1,992×1/3-664	11,200
消防防災無線増設事業	親局改造、子局増設4ヶ所	9,000
長田小学校改築事業	補助対象1,222㎡ 6教室 単独分56㎡	182,050
ソフトボール場改良照明施設設置事業	照明灯8基、補助対象10,000㎡	46,722
農地過年度災害復旧事業	天神下水路ほか8地区	3,597
合計		904,277

支出額の目的別内訳

()内は町民1人当りの金額
4月1日現在人口

支出合計
3,835,000千円
(212,925円)

①議会費 1.5%
55,539千円(3,084円)


②総務費 10.2%
392,961千円(21,818円)


③民生費 18.5%
707,826千円(39,300円)


④衛生費 6.6%
253,984千円(14,102円)


⑬その他 0.1%
3,003千円(167円)


⑭公債費 10.7%
410,965千円(22,817円)


⑮災害復旧費 0.1%
4,088千円(227円)


⑯教育費 13.9%
534,155千円(29,657円)


⑰消防費 2.1%
82,220千円(4,565円)


⑱土木費 17.7%
677,070千円(37,592円)


⑲商工費 1.5%
56,138千円(3,117円)


⑳農業費 15.7%
603,826千円(33,325円)


㉑労働費 1.4%
53,225千円(2,955円)


監査委員公告 第1号

昭和五十六年度における定例監査の結果を、地方自治法第一九九条第八項の規定に基づいて、次のとおり公表します。

昭和五十七年四月八日

三股町監査委員

一、監査の期日

昭和五十七年一月二十六日から昭和五十七年一月二十七日まで二日間(税務課)
昭和五十七年二月二十二日から昭和五十七年二月二十四日まで二日間(建設課・都市計画課)
昭和五十七年三月四日から昭和五十七年三月五日まで二日間(農畜産課)

二、監査の対象

今回の定例監査は、地方自治法第一九九条第三項(三股町監査委員条例第四条)の規定に基づいて行なったもので、右記関係課の主任として財政運営を中心に、税務課においては昭和五十六年十二月末日現在、建設課及び都市計画課においては昭和五十七年一月末日現在、農畜産課においては昭和五十

三、監査の結果

七年二月十五日現在の財務事務及び事業の執行について監査をおこなった。

監査の結果を総体的に言うと、昭和五十六年度の各種事業及び予算の執行状況と事務処理の状況は概ね所期の成果を挙げているものと思料し、町当局の不断の努力により改め、町長及び議長に報告した意見をもちとして述べることにするが、簡明を期し長文となることを避けるため、平素の事務処理の状況や、予定どおりの進捗を示している事業の経過等については、一々これを詳細に述べることは省略し、監査の都度、町長及び議長に報告した意見をもちとして述べることにする。

四、監査意見の概要

(1) 税務課
軽自動車税の客体の調査については、毎年調査申告がなされているが、農耕用作業自動車については更にその調査をつまびらかにして、適正課税の確保を望むものである。

大型農耕トラクターは県においても自動車税として課税されておらず、町においても軽自動車税として課税されておらず、課税の公平化を期するため、制度上の問題ではあるが適正課税の必要を認める。

(2) 建設課
①臨時地方道整備事業による町内幹線道路の整備事業は、昭和五十一年度より継続的に実施され、生活環境道路が著しく整備されてきているところであるが、今後ともこの事業の実施推進をはかり、町民の要望に応えて行かれるよう願って止まない。
②建設課所管の工事は公営住宅建設工事を初め、土木関係工事数十件に上り、これが工事の設計、監督、検査等の進行管理には、大変苦勞を多とするものであるが、これ等各工事の進行管理を的確に処理するために、更にその記録管理を望むものである。

(3) 都市計画課
都市計画課所管の各工事に對する進行管理については、建設課所見と同じ。
(4) 農畜産課
農畜産行政は、国、県支出金を伴う補助事業、町単独で行なう補助事業これら補助金政策によって推進されているものが多種にわたる複雑であるので、同種類似の補助事業については、制度上の問題でもありますが、重点的施策に沿って統廃合することが好ましいことである。

(5) 各課に通じる事項
①職員の数管理、人員の配置については、今後更に適正配置を望むものである。
②備品管理の状況については、現在備品カード制による整理が行なわれているが、備品台帳としての機能が十分に果たされていないので、今後この点を検討され、制度改正の必要を認めるものである。





南原住宅・三股中など完成

本町が昨年度に建設を進めていた各種の施設が次々に完成しました。



蓼池地区に完成した南原住宅

話 題

南原住宅

南原住宅は、総事業費九千二百六十五万円を投じ今年三月二十五日に竣工しました。鉄筋三階建て一種住宅が十二戸建設され、現在使用に供されていますが、周囲の植栽や団地内の舗装も一応終わり入居者は喜ぶおられます。

町 の

三股中の特別教室

三股中の特別教室は、総事業費二億一千三百万円をかけて今年二月に完成しました。今回の改築は視聴覚・美術・調理・木・金工・被服・英語の各特別教室とその準備室が主なもので、今後の中等教育での重要な目標の一つである職業に関する基礎的な知識の習得に大きな期待が寄せられています。

仮屋農村広場

仮屋集落館及び共同墓地跡地約千二百平方メートルを整地し、暖地営農むらづくり事業で建設されたもので総事業費三百六十六万円が今年一月三十日に完成しました。

三原コミュニティセンター

三原コミュニティセンターは、三原地区民の集会施設で、地区民のいこいの場としてまた、課題解決の場として建設されたものです。総工費一千六百四十五万円が昨年の十二月に完成しました。



上米満児童館

児童の健全な成長を促進する地域組織活動の場として建設されたもので、遊戯室兼集会場、図書室、事務室などが設置されています。総事業費一千八百八十万円を投じ、今年一月に完成しました。



轟木農村広場

長田峡の東方の耕地跡に約四千平方メートルの立派な農村広場が完成しました。これは新農業構造改善事業で建設が進められているもので、総工費一千八百四十九万円をかけて、広場及び遊園地がこの程完成しました。



この敷地内には、今年度に轟木集落センターも建設される計画で、大いに活用されることでしょう。

優等一席に飛岡・内田氏

第三期和牛品評会



昭和五十七年度第三期(五月七-九日)の和牛品評会は、去る三月三十一日畜産センターで行われ、成績は次のとおりでした。



子牛の部 優等賞のみ
メスの部 一席 飛岡 伝 轟木 飯屋富士高田上 小林 泉 小サ 永吉勝男 蓼池 今村京子 田上 永井和男 梶山 山中利弘 蓼池 新規採用職員に辞令交付
本町では先に昭和五十七年の職員採用試験を実施しましたが、この程新規職員五名が決定し、四月三日に辞令が交付され同日付で職員に任用されました。
五名の新規採用職員は、共に厳しい選考を突破しただけあって、一生の職業と選んだ地方公務員としての誇りと職務に対する熱誠がうかがえました。尚新規採用職員
福重久和 農地 上原雅彦 建設 財部千里 図書館
新地 浩・佐沢利郎 町立病院

お知らせ

●都城育英会奨学生募集

昭和五十七年度財団法人都城育英会奨学生を左記のとおり募集いたしますので、希望者は関係書類を都城教育委員会学校教育課へ提出してください。

記

一、募集人員および給付額

大学生 昭和五十七年度入学した者 四〇名以内
月額 二〇、〇〇〇円給付

二、奨学生の資格

都城及び北諸県郡に生活の根拠を有する者の子弟で、昭和五十七年四月大学(文部省所管)に進学した者のうち学業、人物ともに優秀で、かつ健康であつて学資の支弁が困難と認められる者。

三、提出書類

イ、奨学生願書
ロ、奨学生推せん調書
ハ、在学証明書
ニ、所得証明書

ホ、住民票抄本

四、募集期間

昭和五十六年四月二十日(火)から五月二十日(木)まで

五、採用決定

採用決定通知の時期は、募集締め切り後おと一ヶ月以内とする。

六、その他

願書、推せん調書用紙は、都城・北諸県郡内各高等学校ならびに、都城・北諸県郡各町教育委員会へ請求してください。詳細についてはお問い合わせは左記へ。

都城教育委員会学校教育課
〒二〇(九九六)三二二(内線五〇七)



愛鳥週間

●自動車税は五月三十一日までに納めましょう!!

自動車税は、五月三十一日が納期限です。

四月一日現在で自動車をお持ちの方へは、五月中に「納税通知書」を郵送しますので、次のいずれかで早めに納めてください。

宮崎銀行・その他の銀行
信用金庫・信用組合
県信用農業協同組合連合会

農業協同組合
商工組合中央金庫 県内郵便局

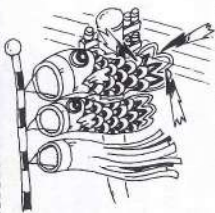
各県税事務所・自動車税事務所
なお、五月末までに納税通知書

が届かない場合は、自動車税事務所(〇九九八五一一四二六九)かお近くの県税事務所にお問い合わせください。

●鯉のぼりが電線にふれないように注意ください

さわやかな初夏の風物詩、鯉のぼりも電線の近くで泳がせると思わぬ感電事故につながりかねません。事故防止のため、次のようなことにご注意ください。

●鯉のぼりの支柱を立てたり倒したりするとき、電線にふれないよう注意してください。
●もし、鯉のぼりが電線・電柱に引っかけた場合は、自分で電柱に登ったり、物干ざおでとりはずしたりせず、最寄りの当社営業所へご連絡ください。



愛の「寄付」

三股町社会福祉協議会では、恩明寄付を次の通りいただきました。故人の冥福をお祈りいたしますと共に社会福祉進展のために有意義に利用させていただきます。

昭和五十七年三月十日から
昭和五十七年四月二日まで

- 寄付者 続柄 故人名 地区 金額
- 宮里ミエ子 夫 美穂 小きさ 二万四
 - 久保マリ子 夫 久 男 藤田 二万四
 - 釘村重治 母 タ 友 東原 二万四
 - 坂元春芳 母 タ 餅原 二万四
 - 諸井俊雄 母 ミ 子 飯屋 二万四
 - 木下ユキ子 夫 金助 上 米 一万四
 - 山元次信 父 謙 高畑 五万四
 - 中村ミサ子 夫 貞男 谷 三万四
 - 中原ヒロ 妹 美枝 上 米 二万四
 - 本村春男 母 ヤ 子 飯屋 二万四
 - 佐沢フジエ 夫 行成 餅原 五万四
 - 荒波トモ子 夫 佐 吾 仲町 二万四
 - 田牧敏作 妻 好 江中 米 二万四
 - 甲斐辰雄 妻 フジエ 上 米 一万四
 - 宮里牧夫 妻 ツル子 小きさ 新 一万四
 - 木佐正吉 妻 文 岩 盛下 新 一万四

4月の納税 軽自動車税 全期

固定資産税の1期分は今年度に限り5月納税です。

三股町の人口

昭和57年4月1日現在

人口18,011人 出生 26人
男 8,560人 死亡 13人
女 9,451人 転入 180人
転出 235人

世帯数 5,519戸
前月比-42人